

第二十四回帝國議會
衆議院

地租條例中改正法律案外二十九件委員會會議錄(速記)第六回

會議

明治四十一年二月十九日午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

栗原 亮一君	野田 卯太郎君	古井 由之君
菅原 傳君	奧野 市次郎君	北村 左吉君
濱名 信平君	森本 駿君	大岡 育造君
永島 龜代司君	多田 作兵衛君	中倉 万次郎君
上埜 安太郎君	池田 惟貞君	松田 吉三郎君
安田 勳君	大石 熊吉君	齋藤 眞輔君
大津 淳一郎君	合田 福太郎君	關 直彦君
七里 清介君	紫垣 一雄君	三井 忠藏君
濱田 國松君	淺野 陽吉君	川眞田德三郎君

明治四十一年二月六日委員橫田虎彦君辭任ニ付其補缺トシテ七里清介君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵牧野 伸顯君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

內務次官 吉原 三郎君

沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案(政府提出)

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出)

酒母、醪及麴取締法中改正法律案(政府提出)

煉乳原料砂糖戻稅法案(政府提出)

地方稅制限ニ關スル法律案(政府提出)

○委員長(栗原亮一君) ソレハ會ヲ開キマス、今日ノ問題ハ、前回酒造稅、砂糖稅等ガ決議ニナリマシテ、之ニ關聯スルトコロノ議案ガ殘テ居ッタデアリマス、ソレハ沖繩縣及東京府、小笠原島、伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案、沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案、酒母、醪、及麴取締法中改正法律案、是ハ此間ノ酒造稅ノ議案ト關聯シタモノデアリマスカラシテ、先ヅ取敢ヘズ此酒ニ關スル三案ト、ソレカラ煉乳原料、砂糖戻稅法案ト云フモノガアルデアリマスガ、是ハ砂糖稅ガ増稅ニナリマシタカラ、是モ關聯シタモノデアリマスカラ、此一案件トソレカラ地方稅制限ニ關スル法律案、是ハ前期議會ニモ衆議院ヲ通過シテ居ッタ案デアリマスガ、先ヅ是ガケテ議(附スルコトニシマシテ、先以テ此地方稅制限ノ方カラシテ政府委員ノ説明ヲ求メマシテ、之ニ付テ十分御質疑

アルヤウニ致シタイと思ヒマス、地方稅制限ノ方カラヤリマス

○淺野陽吉君 稅法整理ニ付テハ大體ノ質問ガアルノハドウシマスガ、大體ノ質問ハ初メニ一通リ終リタケテ、未ダアレハ終結ヲ告ゲタト云フ宣告ハ聽カナイデアリマスガ

○委員長(栗原亮一君) ソレハ場合ニ據リマシテ致シマスガ、今日ハ此方ヲヤリマス

○淺野陽吉君 ソレデハ此ノ次ギニ問フテモ宜シウゴザイマスガ

○委員長(栗原亮一君) ソレハ又機會ガアリマスカラ、今日ハ關聯シタ問題ダケヲ片付ケルコトニシマス、一應內務ノ政府委員カラ地方稅制限ニ關スル説明ヲ願ヒマス

○政府委員(吉原三郎君) 地方稅制限ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタル理由ノ概要ヲ申上ゲマスガ、是ハ既ニ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、既ニ議會ニ提出致シマシテ、衆議院ノ方ハ一遍通過致シマシタ案ト、大體ニ於テ同様に案デアリマスガ、御承知ノ如ク非常特別稅法ニ於キマシテ、府縣以下公共團體ノ課稅ニ關スル制限ガ、大分嚴シク成ッテ居リマス譯デアリマスガ、此制限ノアリマスルタメ、地方ニ於キマシテ必要ナルトコロノ事業、即チ此戰役後地方ノ事實ニ發展ヲ致サントスルコト、或ハ傳染病ノタメ已ムヲ得ザル費用ヲ要スルコト、或ハ勸業教育土木等ニ於キマシテモ、既ニ此戰役前ニヤリ掛ケテ居ッタ事實ノ、一時戰役ノタメ中止シテ居ルト云フ事業ヲ遂行スルコトモ出來ナイ、要スルニ地方諸般ノ事業ヲ發達スル必要アルニモ拘ラズ、此制限ノタメ發達スルコトガ出來ナイト云フ不都合ヲ感ジテ居リマスノデ、其制限ノ幾分ヲ解キタイ、斯ウ云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、勿論此非常特別稅法ニ於キマシテ大概ノ復舊ニ關スル費用、ソレカラ二十六年以前ニ起シマシタル起債ノ償還、及ビ水利ニ關スル費用、此三ツツダケニ就キマシテハ、內務大藏兩大臣ノ認可ヲ受ケマスレバ、制限外ノ課稅ヲナスコトガ出來ルコトニ成ッテ居リマスケレドモ、其以外ノモノハ法律上內務大藏兩大臣ニ於テモ認可ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、即チ如何ニ必要ナル事ガアツテモ、之ニ認可ヲ與フルコトガ出來ヌト云フ窮屈ナルコトニ成ッテ居リマス、此制限ヲ存シテ居リマス時ニハ、ドウ云フ結果ヲ生ジマスルカト申シマス、地方ニ於テドウシテモ必要已ム可カラザル費用デアリマスレバ、其事業ヲ遂行セヌト云フコトガ出來マセヌ、一方ニハ租稅ニ制限ヲ附ケラレテ居リマスカラ、勢ヒ已ムヲ得ズシテ地方ガ起債スルコトヲ途ニ據ルト云フコトニ成リマスノデアリマス、ソレカラ又一方ニ於キマシテハ地租、營業稅、所得稅等ニ制限ヲ設ケラレテアルアルタメ、已ムヲ得ズシテ戶數割ニ依ルト云フ方法モ案出致スルコトニナリマス、是ハ別段法律上ノ制限ガゴザイマセヌカラ、勢ヒ此戶數割ニ依リ若クハ此ノ起債ノ途ニ依テ其事業ヲ遂行スルコト云フ事實ニナツテ參リマス、然ルニ御承知ノ如ク此戶數割ト云フモノハ、勿論各地方ニ於キマシテ、ソレノ如ク此等級ヲ立テ、自然貧富ノ程度ニ應ジテ負擔致スルコトニハ成ッテ居リマスケレドモ、ドウ致シマシテモ其傾キト云フモノハ、貧民モ之ヲ負擔スルコト云フヤウナ、貧民ノ負擔ガ勢ヒ増スト云フコトニナリマスノデ、從テ事實ニ於テ滯納處分ガ多クナルト云フ弊害モ起リマス、又起債ニ依ルト云フコトハ、事實府縣或ハ町村ノ納稅者ニ於テ負擔ノ出來ナイ場合ニハ、誠ニ已ムヲ得ザル方法デ

アリマスケレドモ、未ダ之ヲ負擔スルノ餘地アルニ拘ラズ、法律ノ制限ノタメ、據ロナク公債ヲ起スト云フコトニ成ラヌケレバナラヌコトニナリマスノデ、無益ノ利息ヲ負擔致シマシタリ、又此公債ト云フモノハ差當リテノ負擔ガ苦クアリマセヌカラ、終ニソレ程必要ナ事業デナクテモ公債ニ據リタガルト云フ傾ガアリマスノデ、此起債ト云フコトハ成ルベク其慣習ヲ付ケタクナイノデゴザイマスルガ、法律上制限ヲセラル、タメニ、已ムヲ得ズシテ此公債ヲ許ス、ソレガ自然又慣習ノ附ク、恐モアリマスルデ、兎ニ角事實ニ於テ負擔ノ出來ナイ場合ハ致方ガナイノデアリマスガ、事實ニ於テ尙負擔ノ餘地アルニ拘ラズ、公債ヲ起シタリ、或ハ貧民ガ比較的負擔ノ重クナリマス戸數割ニ據リ致スト云フコトハ、甚ダ好マシカラザル狀況ニ立至リマスノデ、ヤハリ相當ノ程度マデハ、此制限ヲ緩メルト云フコトが必要ナリト認メマシテ、此法案ヲ提出シマシタ次第デゴザイマス、内容ニ就キマシテハ、御質問ニ據リマシテ、更ニ御答致スコトニシマス

○淺野陽吉君 私ハ少シバカリ御説明ヲ願ヒタイ、唯今御説明ノ内ニ御話ニナリマシタ地方ノ公債ガ増スト云フコト、或ハ戸數割ノ如キモノヲ取ルト云フコトハ、甚ダ惡イコトダト私ハ思フテ居リマス、其事ニ付イテ少シ御説明ヲ願フデ置キタイト思ヒマスノハ、先年デアッタと思フ内務省ト大藏省ノ兩次官ノ御連名デアッタカ、地方債ノ整理ヲ企テラレテ、各地方廳ニ通知ヲサレタコトガアッタと思ヒマス、地方債ノ中ニ甚ダ高歩ノ利子ヲ拂テ居ル公債ガアルカラ、政府ハソレヲ興業銀行ヲシテ整理セシムルノデアアルカラシテ、成ルベク其整理ヲセシムルガ宜カラウト云フヤウナ、御趣意デアッタラウト記憶致シテ居リマス、若シソレガ間違デアッタナラバ、私ノ記憶違デアリマス、此整理ト云フコトニ付テハ、内務大藏兩省トモニ御熱心ノコトハ、私モ記憶致シテ居リマス、ソレニ付テ御尋致シタイノハ、現在地方債ヲ各府縣別ニシマシタナラハ、戰爭前ノ二十六年ニ比較シテドウ云フ増減ヲ來シテ居ルカト云フコトヲ、第一ニ御尋シタイノデアリマス、ソレト其利子ハ一番高イノト一番安イノト、ドレダケノ範圍ニ今ハナルノデアアルカ、サウシテ最も高イ利子ニ屬スル公債ガ、各府縣別ニシテ今現ニドレダケ現存シテ居ルカ、ソレカラ戰爭中ヨリ地方債ノ整理ト云フコトハ、内務省モ大藏省モ御熱心デアッタガ、興業銀行ノ手ニ依テ果シテ幾許ノ整理ヲ遂ゲタカト云フコトヲ、私ハ承知致シタイノデアリマス、サウシテモウ一ツ御尋シタイノハ、其地方債ガ各府縣ニ於テ如何ナル目的ニ、重モニ使ハレタノデアアルカト云フ分類ガ欲シイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ御尋シタイノハ、今次官ガ御話ニナッタ戸數割ノ如キ惡方法ニ出タ縣ガ幾許アルノデアアルカ、又其金額ヲ府縣別ニスルト、ドウ云フコトニナッテ居ルカト云フコトヲ承知シタイノデアリマス

○政府委員(吉原三郎君) 御答ヲ致シマスルガ、二十九年デアリマシタカ、此地方債ガ極ク安イノデアリマスルト云フト、六朱位デ起債ヲシテアルノモゴザイマスガ、又多クノ中ニハ随分一割以上ト云フ高歩ノ起債モ隨分ゴザリマスルノデ、地方ノタメニ甚ダ不利益デゴザリマスルカラ、ドウカ低利ノ金ヲ以テ此整理ヲ致シタイト云フ希望ヲ起シマシテ、一時ハ先ヅ一千万圓ヲ限リマシテ、低利ノ金ヲ以テ之ヲ整理サセルノ望ガ大ニアリマシタ、ソレ故ニ地方ニ通牒ヲ致シテ、七朱以上ノ公債ヲ整理サシタイト云フノデ、段々取調ヲ致シマシタガ、不幸ニ致シマシテ此整理ニ供用スベキ資金ハ、外國ニ仰グト云フ積リデアリマシタノガ、御承知ノ如ク外國ノ市場ニ於テ六朱七朱ト云フヤウナ金利ニナッテ

參リマシタタメニ、此整理ニ供セント欲シタ所ノ資金ヲ得ルコトガ、遂ニ望ヲ達セナカッタノデアリマス、ソレデ今今日以テ其整理ヲ致スコトガ出來ズニ居リマスガ、漸ク興業銀行デ三百三十二万圓程ノ資金ヲ得マシテ、是ダケハ整理ヲ致シマシタ、其後ハ未ダ整理ノ運ニ至ッテ居リマセヌ、併ナカラハ是ハ都合ノ著キ次第、モット低利ノ金ヲ以テ地方債ノ整理ヲ致シタイト云フ考デ、始終其ノ希望ハ今日デモ繼續シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ先刻チヨット此本案提出ノコトニ付キマシテ、申落シタコトガアリマシタガ、其非常特別稅ノトキニ公債ノ償還ニ關スルモノハ、制限ヲ超過シテ賦課ヲ許スコトニナッテ居リマシタガ、是ハ三十二年以前ノ公債ニシカ適用ガ出來ヌノデ、三十二年以後ニ起シマシタ公債ニ付テハヤハリ制限外ヲ以テ之ヲ償還スルコトガ出來ヌト云フコトニナッテ居リマス、從テ非常特別稅法ノ規定ヲ繼續致シテ參リマスト云フト、如何ナル必要ガアツテモ、公債ニモ依ラセラルコトガ出來ヌト云フ結果ガ起リマス、何故カト云フト、公債ハ許シマシテモ此公債ノ利子ヲ拂ヒ、若クハ之ヲ償還セシムルト云フノ財源ニ困リマスカラ、ドシカ必要ナモノデモ起債ヲ許スコトガ出來ヌト云フ結果ニナリマスノデ、尙更本案ヲ提出スル必要ヲ認メタ譯デアリマス、此事ヲ一言補足シテ置キマス、唯今ノ公債額ノ御尋ハ府縣ト……

○淺野陽吉君 ソレハ後代表ニシテ下スツテモ宜シウゴザイマス、今日一々御辯明ヲ戴カヌデモ、一覽ノ方ガ便利ト思ヒマス

○政府委員(吉原三郎君) ソレデハ表ニシテ差上ゲマス

○淺野陽吉君 其戸數割ノ方モ表ニ致シテ下サレバ、尙更宜イト思ヒマス

○政府委員(吉原三郎君) ソレデハ出來ルダケ差上ゲマス

○淺野陽吉君 ソレカラ序ニモウ一ツ御尋ヲシタイノハ、一千万圓ノ金デ興業銀行ヲシテ地方債ノ整理ヲセシメタメデアッタガ、外國ノ金利ガ上ガッタ爲ニソレガ出來ナイ、デ三百三十二万圓程ニシテ整理ヲセシメタト云フ、斯ウ云フコトデアリマシタ、幾分ナリトモ整理ノ途ニ向テ行ッタノハ、私モ喜ブトコロデアアルガ、現在ハ興業銀行ヲシテ整理セシムル資金ハ、全ク無イト心得得宜シウゴザイマスカ

○政府委員(吉原三郎君) 是ハ唯今私カラチヨット言フコトヲ、斷言スルハ甚ダ困リマスガ、今日ノコロデハ先ヅムツカシイコトニナッテ居リマス

○淺野陽吉君 其方法ハ講ツツ、アルノデゴザイマスガ、其方法ヲ如何ニカシテ、之ヲ興業銀行ヲシテ整理セシメヤウト云フコトニ付テハ、御熱心ニ御計畫中デアリマスガ、或ハ抛擲シテ居ラル、ノデアアルカ

○政府委員(吉原三郎君) 是ハ熱心ニ其事ニ意思ヲ繼續シテ居リマス

○淺野陽吉君 其邊ニ付テノ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(吉原三郎君) 此方法ニ付キマシテハ、最初一千万圓ト云フノハ、全ク外國ニ於テ、安イ金ヲ興行銀行ニ借りサセヤルト云フコトデアリマシタ、是ガ唯今申上ゲマシタ通りニ、此希望ハ尙繼續シテ居リマスガ、未ダ之ヲ實行スル運ニ至ッテ居ラヌノデアリマス、其他ノ方法ト申シマスレバ、是ハ大藏省ノ方ニ餘地ノアル場合デアリマシタナラバ、或ハ興業銀行ノ方ハ廻スト云フヤウナコトガアルカモ知レマセヌガ、此事ニ付テハ私ヨリチヨット申上兼ネマスルデ、大藏省ノ政府委員ノ方ヘ御尋ヲ願フコトニ致シマス

○淺野陽吉君 大藏省ノ方ノ政府委員カラ御説明ヲ願ヒタイ、何誰モ大藏省ノ方カラ御説明ハゴザイマセヌカ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御尋ハ、大藏省ノ政府委員ハ出テ居リマスケレドモ、主管外ニナツテ居リマスケラ、後刻申上デマス

○淺野陽吉君 ツレテハ後刻御説明ヲ願ヒマス

○合田福太郎君 今淺野君カラノ御尋ニ對シテ、政府委員カラツレテ作ッテ御出シニナルト云フコトゴザイマセヌカ、私モ此金額上ノコトニ付テ少シ御調フシテ戴キタイ、此案ハ昨年出マシタ案ト大同小異デ、昨年モ此委員會ノ時ニ質問致シマシタカラ、大要ノコトハ分リマシタガ、今度此案ヲ見マシテ頗ル其計算上ノ事ニ付テ疑ガアル、ツレガ此案ノ各條ヲ見マシテ、課税ノ率ハ以前ノニ比ベテ見ルト低イ額デ、以前ニ比較スレバ低クナツテ居リマスケル、本税ニ非常特別税ヲ加算シテ總額ニ對シテ附加税ヲ課スルカラ、殆ド概シテ言ヘバ半減ト云フヤウニ、割合ハ低クナツテ居ル、私ノ御尋シタノハ昨年モ政府委員ハ今ノ地方税ノ制限ノ範圍内デハ、差當リ教育衛生土木ト云フヤウナコトニ就テハ、少シモ地方ノ事情ヲ改良スルコトモ進歩セシムルコトモ出來ヌカラ、制限ヲ解カヌケレバナラヌト云フ御説明ニナツテ居リマス、前ノ課税制限ノ、即チ現ニ法律トナツテ居ルモノト、此案ト比較シテ見マシテ、幾分カ此案ガ課税ノ餘地ガ出來テ居ルニ違ヒナイ、課税ノ餘地ガ出來テ地方ノ事業ガ出來ルト云フコトデ此案ガ出來マシタ、餘地ト云フノハ、今迄ノ地方ノ財源ニ對シテ二割ナリノ多クノ課税ガ出來ルト云フ餘地ガ、出來テ居ルニ違ヒナイと思ヒマス、其餘地ノ額ヲツレト比較シテ見タイノハ、今迄ノ課税ノ制限ト云フモノハ名ノミデ、實ハ統計ニ依ツテ見ルト制限ヲ超過シテ居ル、ツレガ又地租割ヲ見マシテモ、以前ノ非常特別税中ニモ制限ヲ超ヘテ課税ノ出來ルトニナツタ、先程政府委員ノ御辯明ニナツタヤウニ、三十六年以前ノ負債ヲ償却スルコトカ、或ハ土木ノ事或ハ水利ノ事トカ云フヤウナモノハ、ヤハリ制限外ノ内務大藏兩大臣ノ認可ヲ經テ課税ガ出來テ居ル、アノ制限外ノ課税ヲシテ居ルコトコノ實際ノ負擔額ト、此新法デ課税ノ出來得ラレル負擔額ヲ比ベテ見ルト、私ハサウ差額ハナイト云フ考デアル、謂ハミ前ノ制限ノ上ニ制限外ノ負擔ヲサセタ、實際負擔シテ居ルトコノ額ト、此度法律案ニナツテ居ル此案ガ負擔セラレル金額ト、殆ド同一位ナコトデアリハセヌカ、若シ此案ガ成立ツトシテ見テモ、實際ニ就テハ餘地ノ無イヤウナコトニナツテ居リハシナイカト云フコトヲ、計數ノ上ニ於テ御調フシテ戴キタイ、ツレカラシテ今一ツ御尋シタイノハ、此案ノ五條ガ即チ制限外ヲ又超過シテ課税スルト云フコトニナツテ居ル、所ガ前ノ此制限外ノ課税ヲスルト云フコト違ツテ居ル所ハ、制限外ノ課税ニ尙ホ制限ヲシテ趣意デ、サウシテモウ一ツハ、其以前ノハ三十六年度ノ負債償却ヨリ外、其負債ノ償却ノ爲ニ制限外ヲ超過スコトハ出來ナイ、今度ノ此文章ヲ見ルト、既往ニモ現在ニモ將來ニモ廣ク互ツテ、所謂地方ガ借金ヲシサヘスレバ、借金ニ對スル利子モ現金モ制限外デ十分ノ四サヘ超ヘレバ、賦課ガ出來ルト云フヤウナコトニ見エル、シテ見ルト此處デ此案ガ制限ヲ置イテ置キマシテモ、十分ノ四ノ制限外ノ範圍内ナラバ、ツレデ利子ノ償却ヲスルコトモ出來レバ、如何程ノ地方債ヲ起スコトモ、此制限法デハ許シテ居ルト云フコトニ見エルノデスガ、果シテサウ云フヤウナ御考デ立案サレタノデアリマスケト云フコトヲ、伺ツテ置キタイ

○政府委員(吉原三郎君) 第一ノ御尋ハ此案ニ於テハ前案ト違ツテ居ルコトハ、非常特別税ノ即チ増税ヲ加ヘタモノニ付テ此步合ヲ出シテアルカ、其步合ト云フモノハ從前ニ許シタモノト格別變シテ居ラヌヤウニ思フガ、ドウダ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ……

○合田福太郎君 イヤサウデハアリマセヌ、此案デ實際負擔サセル額ガ從前既ニ負擔シテ居ルモノヨリモ、餘計違ハナイヤウニ思フ、法案ノ上デハ差額ガ見エテ居ルガ、實際制限外ノ負擔ヲシテ居ルカラ、悉ク制限ヲ超シテ居ル何處ノ地方モ土地ノ負擔ハ制限ヲ超サナイモノハナイ、サウスルト緩メテモ現在ヤハリ賦課シテ居ルカラ、此上デ働キガ利カヌヤウナ恐レガアリハシナイカ、計數ノ上デ明ニシテ戴キタイ、斯ウ云フコトデアリマス

○政府委員(吉原三郎君) 分リマシタ、ツレハ或場所ニ於テハ從前ノ制限ガアリマシテモ唯今ミナ六年以前ノ公債ノ償還元利ノ償還、及ビ災害復舊費、及ビ水利ノ關スル費用等三ツノモノハ制限外ニ賦課スルコトヲ許シテ居リマシタカラ、此三ツノ中ノ何レガ或町村或府縣ニ於キマシテ、ツレハ制限外ヲ取ツテ居リマシタ、併ナガラハ其全國ノ公共團體全部ト云フ譯デアリマセヌ、從前ノミナ六年以前ノ公債ノ無イ所モアリマス、又災害ヲ被ラヌ所モアル、水利ノ關係ノナイ所モアル、斯ウ云フ所デハモウ法律制限ニ依ル以上ハ、取ルコトハ一ツモ出來ナイ、例ヘバ學校ノ學級ガ殖エテ來タ、學校ガ惡クナツタカラ改築シナケレバナラヌト云フ爲メデモ、公債ヲ起シテ其元利ヲ拂フコトモ出來ナケレバ、制限外ノ課税ヲ爲スコトモ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスルノデアリマスルガ、此多クノ市町村ト云フモノヲ見マシテ云フト、ヤハリ此制限ヲ解イテモ解カナイデモ同ジコトデアルト云フ事實ニハナリマセヌデアリマス、ツレカラモウ一ツノ御尋ハ、此第五條ノ公債ノ元利ヲ償還スルト云フコトガアツテ、ミナ六年以前デモ以後デモ、其ニ制限外ノ課税ヲナスヤウニナラヌ、此制限ヲ廢メテモ何ニモナラヌデハナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ今ノ第五條ニアリマスル公債ノ元利金ト云フモノヲ償還スル爲メハ、十分ノ四以外ニモ尙ホ往ケルト云フ、是ハ積リテ書イテ居リマスルガ、左様致シタナラバ殆ド此制限ヲ設ケタ理由ガ分ラナクナルト云フ御話ハ、一應御尤デゴザイマス、ヤハリサウ云フコトニナリマスルガ、併シ此公債ト云フモノヲ起シマスルニハ、内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケルコトニナリマスルカラ、一方ニ此制限ヲ緩メテ置キマスレバ、濫リニ公債ヲ起サセマセヌ、即チ事實ニ於テ、果シテ此公債ヲ起スコトガ必要止ム可ラザルモノデアリヤ否ヤト云フコトヲ審查シ、尙其町村ニ於テモ負擔ノ——法律上負擔ノ餘地ガアルヤ否ヤト云フコトモ審查ヲ致スコトニナリマスルカラ、決シテ是ガ制限ガ有ツテモ無クテモ同ジト云フ事實ニハナリマセヌデアリマス、併ナガラ之ヲ濫用スルト云フ時ニ至リマスレバ、唯今御心配ノ如キコトニモナラヌトハ申上テラレマセヌ、ツレデ細カキ表ハ刷物ニシテ差上ゲルコトニ致シマス

○合田福太郎君 五條第一項ノコトニ付テ尙御尋シテ置キタイ、今ノ御答ニ依ルト結局地方課税ノ負擔ヲ受ケルモノハ、内務大藏兩大臣ノ遣リ口一ツデ、謂ハミ今御辯明ニナツタヤウニ、内務大藏兩大臣ガ誠ニ結構ナ手段ヲ執ツテ下サイマスレバ憂フルニ足リマセヌガ、若シ時ノ内務大藏兩大臣ノ方ガ偏頗ノ處置ヲ執ル時分ニハ、此法律ニ依テ偏頗ノ處置ヲ人民ハ受ケナケレバナラヌ、成程此處ニ書イタル十分ノ四以内課税セラル、ナラバ宜シイガ、十分ノ四ノ負擔金額ヲ起債ノ利器ニ見込シテ、トモモ地方デ擔ヒ

キレヌ公債デモ負ヒ込ム時分ニハ、時ノ内務大藏兩大臣サイアヤマレバ、如何程ノ苦痛デモ、地方人民ニ與ヘラレルコトノ嫌ガ見エラユニ思フカラ、質問シタノデ、果シテ法律ノ上カラ濫用ノ出來ヌト云フ意旨ガ分ッテ居レバ、ソレデ宜イ、其以上ハ議論ニナリマスカラソレデ宜シイ、ソレカラ先程地方デ種々ノ事業ノ爲メ財源ハ多ク附加稅カラ取ルト云フヤウナ御答ガアッタ、私モ其傾キガアルコトヲ見テ居ルノデ、ソレニ就イテ斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイ、或地方ニ於テハ現行ノ制限法デ、トモヤリ切レナイカラト云フノデ、縣債若クハ町村債償却ノ稅源ガ無イカラ、戶數割ヲ増徴シテ、ソレヲ以テ借入金ノ元利償却ノ、財源ニ充テル手段ヲ執ツタ縣ガアッタト云フコトヲ、昨年聞イタガ、果シテサウ云フ地方ガ何處カニアリマシタカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(吉原三郎君) 御答致シマス、第一ノ御尋ハ、即チ内務大藏兩大臣ノ認可ヲ得マスレバ、此公債ヲ起ス、從ッテ制限外ノ課稅ヲ以テ其償還ヲナスコトガ出來ルト云フコトニナリマスガ、若シ内務大藏兩大臣ガ甚ダ不都合ノコトヲスルト云フ疑ヲ以テ見タナレバ、唯今ノ御話ノ如キ場合モ生ズルデアリマス、生ジナイト云フコトハ法律ノ上カラハ申セナイデアリマス、併ナガラ地方制度ヲ施キマシテ以來二十年ノ間、全ク何等ノ制限モナク、即チ附加稅ト云フモ内務大藏兩大臣ノ認可ヲ得レバ幾ラデモ出來タ、法律上ノ理窟トスレバ幾ラデモ出來タ、公債モ幾ラデモ起スコトガ出來ルト云フコトデアッテ、其以外ニ於テハ何等ノ之ニ制限ハ無カッタデアリマス、併ナガラ内務大藏兩大臣ガ、市町村ガドウナラウトモ、府縣ガドウナラウトモ構ハナイカラ、ドシノ許スト云フコトノ無情ナル事實ハ、是迄無カッタ考ヘマスカラ、ソレハ内務大藏兩大臣ヲ信ズルカ否ヤト云フ問題ニ歸スルト思ヒマス、第二ノ府縣若クハ市町村ニ於テ公債ヲ起スニハ、全ク戶數割ニバカリ依テ償還スルト云フ方法デ、許シタコトハアルカナイカト云フコトデアリマスヤウデスガ、是ハ事實ノ問題ニ屬スルノデ、唯今確ト其有無ヲ御答スルコトハ出來マセヌガ、多分無カラウト思ヒマス、何故ナレバ起債スル時分ニハ、其事業ノ必要ナルヤ否ヤ、又此公債ハ如何ナル財源ニ依テ如何ナル方法デ償還スルカト云フ、即チ償還ノ財源マデモ取調ベテ致スノデアリマスカラ、サウ云フ無法ナコトハ、決シテ無カッタ云フコトヲ申上グルニ憚ラヌデアリマス、但シ其費用タル如何シテモ支出セザルヲ得ザル費用ニシテ、又償還ノ金額ガ戶數割ニ依ッテモ、尙戶數割ニ於テ負擔ニ堪ヘナイ程ノモノデモナイ、極メテ少額ノモノデアッテ、戶數割ニ負擔ヲサシテモ差支ナイト認メ、且ツ支出ニ就テモ已ムヲ得ザルト云フ場合ハ許シタ場合ガ多少アルカ知レマセヌ、併ナガラ幾ラ重クアッテモソレニ頓着ナシニ許シタコトハ、斷シテ無イト云フコトハ、申上ゲテモ差支アリマセヌガ、多數ノ一万余餘ノ町村デスカラ、ソレハ調ベテ申上ゲマス、一ツ有ツタカ無カッタカ唯今能ク記憶致シマセヌガ、今御心配ノアル如キ事實ノ決シテ無イト云フコトヲ、申上グルニ憚ラヌデアリマス

○合田福太郎君 今ノ戶數割ナラ戶數割ノ全部ヲ財源ニシテ起債シタコトハ、或ハ無イカモ知レマセヌ、私ハ開込シタヤウデスガ、或ハ無イカモ知レマセヌガ、或部分ヲ戶數割ニ取ツテ起債シタノハアリハセヌカト思フ、サウ云フモノハ此ノ法ヲ行フト同時ニ、此五條ニ依ッテ直ニ土地若クハ營業稅所得稅ト云フ方ニ變化スルデアリマスガ、此事ハ一ツゴザリマシタナラバゴザイマシタシテ、十分ニ御調ヲ願ヒタイ

○政府委員(吉原三郎君) 承知致シマシタ、ソレハ取調ベテ申上グルコトニ致シマス、但皆サンモ御承知ト思ヒマスガ、各地方ニ於テ地租ト戶數割ニハ凡ソノ標準ガアッテ、其府縣若クハ市町村ノ從來ノ慣例ガアッテ、或ハ地租ノ六分、戶數割ノ四分、或ハ地租ノ七分、戶數割ノ三分トカ、大抵慣例ガゴザイマスカラ、其一部分ヲ戶數割ニ於テ償還シタ場合ハ、是ハ幾ラモアラウト思フデアリマス、是ハ何處ノ縣モ大抵斯ウ云フコトニ從來ナッテ居ルデアリマス、唯特ニ戶數割バカリデヤッタト云フコトハ、無カラウト云フコトハ信ジテ居リマスガ、尙取調ベテ申上ゲマス

○大津淳一郎君 大体ニ付テ少シ御質問申シタイガ、制限ノ度合ト云フコトハマア後トニシテ、在來斯ウ云フ制限ヲ地方稅ニ置キ來ツタノデスガ、今之ヲ御提出ニナツタヤウナ法案ノヤウニスルト云フコトニナリマシタハ、此法案ノ必要如何ト云フヤウナコトニ付テ、一應政府ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイ、大体ノ御説明ノ中カラ伺ッテ見マスルト、制限ヲ非常ニ嚴格ニ致シマセヌト、府縣ノ財政ノ係ッテ居ルモノハ非常ノ亂暴ノ泥棒ヲシテ金ヲ取ルト云フヤウナ御説明ニナッテ居リマス、サウ云フヤウニ思ハレマスガ、府縣ノ財政ニ於テハ、府縣當局者ト府縣ノ財政ヲ審議スル機關ト云フモノガ立派ニ備ハッテ居ル、是等ガ消極的ノ方針デ、其縣費ヲ極メテ少クシヤウガ、又ハ積極的ノ方針ヲ執ッテ利源ノ開發、其ノ他ノ事業ニ縣費ヲ出シテ大イニ盡サントスルトカ云フコトヲ定メル、各府縣ニソレノ機關ガ備ッテ居ル今日、之ヲ中央デ制限ヲシ、又制限デモセズン非常ノ濫費デモスルヤウニ、或ハ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケルコトニシナケレバナラヌト云フ必要ハ無カラウ、今日ノ府縣ノ當局、府縣ノ財政ノ機關ト云フモノハ、其様ニ幼稚ナモノデハナイ、若シ是ヲ中央ト比較シマシタナラバ、或ハ無謀ノ増稅ヲシタリ、無謀ノ財政計畫ヲ立テルト云フヤウナ、中央ノ財政計畫ヨリモ餘程進歩シテ居ルカモ知レヌ、ソレ故ニ此地方ノ財政ニ對シテ中央ガ斯ウ云フ財源ニ向ッテ制限ヲ立ツルト云フコトハ、何ニ因ッタノデアルカ、此立法ノ精神、此法律ヲ作ル上ニ於テ其考ヲ定メル所ノ元、今日ノ場合斯様な法律ヲ作ッテ置カナケレバ、地方ノ財政ノ狀態、地方ノ財源ノ狀態、府縣費ノ今日ノ狀態ニ於テ斯様な檢束ヲ加ヘテ、此様な檢束ヲ加ヘテ置カナケレバ相成ラヌト云フコトノ必要ナル理由——其必要ト云フコトガ此法律ノ因テ起ル所以デアルト思フデアリマス、單ニ地方經費ノ膨脹ト云フバカリデハナイ、地方ノ民度、地方ノ人間ノ能力如何、各府縣ノ財政當局、即チ知事以下及ヒ縣會以下ハ斯様な制限ヲシテ置カナケレバ、到底彼等ハ地方ノ縣治ヲ完全ニシテ行ク能力ガナイ、或ハアルケレドモ此制限ガ要ルト云フコト、何故此法律ヲ拵ヘナケレバナラヌト云フコトノ御説明ヲ請ウテ見マシタナラバ、後ハ制限ノ高デスカラ、サウ餘リ議論ハナクテモ宜シウゴザイマセウ檢束ヲシナケレバナラヌト云フコト、ソコガ政府ノ此案ヲ必要ト認ムルトコロデアリマセウ、ソレガ茲ニ法律案トナッテ出テ來タデアルカラ、此法案トシテハ其處ガナカノ大ナルモノデアル、全國各府縣ノ當局並ニ人民ニ向ッテ斯ウ云フ檢束ヲ加ヘルノデゴザイマスカラ、折角發達シテ自治ノ進ンデ居ル府縣ノ財政ニ向ッテ檢束ヲ加フルノデゴザイマスカラ、是ハドウモ御考ニナラナケレバナラヌ、此點ニ付テ御説明ヲ拜聽致シマシタ、然ル後私共ハ此制限如何ト云フヤウナコトヲ審議シタイト思ヒマス、ドウカ之ヲ御面倒デハゴザイマセウガ、御説明ヲ煩ハシタウゴザイマス

○政府委員(吉原三郎君) 唯今ノ大津君ノ御質問ハ、或ハ御議論若クハ御意見ニ互ルカノヤウニ承リマシタガ、政府ガ之ヲ必要ト認メマスノハ、凡ソ如何ナル國ニ於キマシテモ、地方ガ發達シテ居ルカラ、之ヲ勝手次第ニヤラセテ置クト云フ處ハナカラウト思ヒマス、何故ニサウスルカ、事實ドウ云フ弊ガアツタクト云フコトデアリマシタガ、從來ノ場合ニ於キマシテ、事實是レノ不都合ガアツタクト云フコトヲ、今此處デ舉ゲテ申上ゲルコトハムツカシイデアリマスガ、若シ此制限ガ無カッタラバ、或地方ニ於キマシテハ成程此制限ガ無クテモ、全ク抛リ離シニシテ置キマシテモ、相當ノ計畫ヲ致シ無暗ニ濫費スルヤウナコトハナリ所モアラウト思ヒマスガ、又或地方ニ於キマシテハ、全ク制限ヲナクシテ置クト云フコトニ至リマシタラバ、或ハ不急ノ土木工事ヲ起シ或ハ不急ノ工事ヲ起シテ、工費ヲ濫費スルト云フヤウナ結果ハ必ズ是ハ生ジテ來ルコト考ヘルデアリマス、是ハ全國皆サウデアルヤ否ヤト云フコトハ分リマセヌガ、必ズサウ云フ結果ヲ生ズルコトハ疑ヒナカラウト思フデアル、加之若シ左様ナコトニナリマシテ、地方デ勝手ニ稅ヲ幾ラデモ賦課スルコトニナリマシレバ、是ハ自然國ノ稅源ニモ關係ヲ致シマスノデ、何レノ國ニ於テモ中央ノ政府ガ、地方ノ財政ヲ監督スルト云フコトハアルノデゴザイマス、又アルベキ事柄デアラウト考ヘマス、大津君ノ仰シタル如クニ、地方ガ能ク發達シテ來タカラ抛リ置イデモ、決シテサウ云フ不都合ハナイト云フ保證ヲ、十分付ケルコトガ出來マシタラバ、或ハ是ハ無用ノ規定カモ知レマセヌガ、併ナガラ是ハ如何ナル國ニ於キマシテモ、決シテサウ云フ事實ヲ見ルコトハ出來ナイダラウト思フ、今マデハサウ云フ事實ガナイニシテモ、萬一サウ云フコトガ地方ニ起リマシタラバ、是ハ由々敷大事デゴザイマスカラシテ、豫メ相當ノ制限ヲ設テ監督ヲ致スト云フコトハ、無論必要ノコトト考ヘマス、現ニ英吉利ナドハ地方ノ起債ト云フモノハ、假令僅カナ起債デモ、一々帝國議會デ之ヲ協賛スルト云フ慣例ガ、今日アルヤウデゴザイマス、英吉利帝國ノ立法府ニ於テハ、之ヲ監督スルト云フ位ニ致シテ居リマス、即チ自治ノ最モ發達シテ居ルト云フ英吉利ニ於テサヘ尙然リデ、忍ラク世界中之ヲ明ケ放シニシテ置クト云フ國ハ無カラウト思ヒマス、又我國ニ於キマシテモ、地方ノ財政ニ對シテ相當ノ監督ヲ致スト云フコトハ、是ハ無論必要ト考ヘマス、併シソレガ必要デ有ル無イト云フコトハ、是ハツマリ議論ニ互リマスカラ、或ハ無イト云フコトモ言ハレマセウガ、政府ハ其必要アリト云フコトヲ認メテ居ルノデゴザイマス

○濱田國松君 第一條第二條第三條稅率ヲ對照致シマシテ所得稅ノ府縣ニ對スル賦課額ハ百分ノ五、營業稅ノ分ハ百分ノ十、地租ノ分ハ百分ノ二十ト云フコトニナテ居リマス、此賦課率ニ非常ノ相違ガアルノデス、此非常ノ相違ハ如何ナル標準ヨリ割出サレタデアリマスカ、ドウ云フコトニ標準ヲ取ツテ御割出ニナリマシタモノデセウカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ第五條ノ特別ノ必要アル場合ト云フコトハ、其一二ノ事例ヲ傳染病豫防費其他云々ト云フコトヲ御説明ニナタヤウデゴザイマスガ、特別ノ必要ト云フ場合ハ、內務大藏兩大臣ガ認定シテ許可シテ實行ニナルト云フコトデスガ、是ハ非常ニ必要ナル目デアラウト信ジマス、此必要ナル場合ト申シマスルモノハドウ云フ風ナコトデアルカ、政府ノ御取調ニナテ居ルダケ、相成ルベクハ此際列舉シテ伺ツテ置キタイト思フノデゴザイマス

○政府委員(吉原三郎君) 此百分ノ二十五トカ或ハ十五トカ云フヤウナモノ、是ハ

從前ノ制限ヲ標準ニ致シマシテ、サウシテ斯ウ致シマシタデアリマス、即チ是モ表ヲ差上ゲマスガ、即チ今日ノ百分ノ二十五ト云フモノハ、即チ増稅ヲ取除イタ前ノ課率ニシテ見ルト、百分ノ幾ツニナルト云フ表ガゴザイマスカラ、之ヲ差上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ此第五條ノ特別ノ必要ト云フ場合ハ、ドウ云フ場合デアルカ、之ヲ茲ニ説明シテ貰ヒタイト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、是ハドウモドウ云フ場合ト云フコトヲ、豫メ申上ゲルコトハ是ハムツカシイデアリマス、或ハ或町村ニ於キマシテハ、學校ノタメニ特別ノ必要アル場合モゴザイマセウシ、或町村ニ於キマシテハ、傳染病ノタメニ特別ノ必要アル場合モゴザイマセウシ、或町村ニ於キマシテハ、土木ノタメニ特別ノ必要アル場合モアリマセウシ、又或ハ勸業ノタメニ特別ノ必要ヲ感ズルコトモゴザイマセウシ、ツマリ其事柄ハ凡ソ地方公共團體ノ事業ニ屬スルモノハ、全部ト見テ宜シイデアリマス、唯勸業ノコトニ付イテ特別ノ必要ガ何處ノ府縣ニモアルカ、若クハ何處ノ町村ニモアルカラト云フト、或年ニ於テハ勸業ノタメニ特別ニ必要ナルコトモアリマス、或年ニハ今度ハ傳染病ノタメニ特別ニ必要ナルコトモゴザイマセウガ、是ハ事實ヲ調査シテ定メマスコトデ、豫メ是レノ事項ハ特別ノ必要デアルト云フコトヲ申上ゲルコトハムツカシイト思ヒマス

○濱田國松君 モウ一ツ質問致シマスガ、唯今御説明ニナリマシタ第五條ノ特別必要ノ事項デアリマス、例ヘバ地方團體ニ於テ勸業ノタメニ必要ナル場合ニ於テ、之ヲ特別ノ必要ト見ルト云フ場合ニ於テモ、ヤハリ內務大臣大藏大臣ダケハ自治的必要ヲ認メラレル、サウシテ勸業ニ關スルコトデモ、農商務省ノ意見ヲ別ニ徵スル御意見ナノデスカ

○政府委員(吉原三郎君) ソレハ關係ノアリマスル各省ニハ、例ヘバ教育ノコトデアリマスレバ、文部省ニ合議スルコトニナリマシテ、ヤハリ關係ノアル各省ニ打合ヲ致シマスノデアリマス

○濱田國松君 ソレカラモウ一ツ御尋致シタイ、今ノ一條二條三條ノ附加稅額ノ割出シ方ハ、別段理由ガ無イノデ、從來ノ率ヲ標準トシテ立テタ、斯ウ云フ御説明デアルデアリマスカ

○政府委員(吉原三郎君) サウデス

○濱田國松君 表ヲ廻スト云フ御話デアリマスガ、表ヲ御廻シ下サルナラバ基本ノ稅額ガ狂ツテ來ルデアリマスカラ——非常特別稅ノ關係カラ——ソレヲ引直シテ對照シテ一目デ分ルヤウニ……

○政府委員(吉原三郎君) 昔デアルナラバ是ダケニナルト云フヤウニ表ニシテ差上ゲマス例ヘバ百分ノ二十五ト云フモノハ元ト府縣デハ百分ノ五十——百分ノ二十五ハ丁度昔ノデアッテ見ルト六十錢九厘ニナル、斯ウ云フヤウナ工合ニ、元ノ率ト比較シタモノヲ差上ゲマス

○濱田國松君 サウ云フコトニ願ヒマス

○合田福太郎君 今ノ一條カラ二條マデノ課稅ノ率ヲ極メタニ付テノ御説明ハ甚ダ聽取リ難ネ、是ハ私ナドハ斯ウ見テ居ツタ、五十ヲ二十五ト半分減ジタノデナクシテ、非常特別稅ノ即チ稅額ハ以前ノ稅ハ本稅ハ五圓其稅額ヘ是位ノ稅率ヲ掛ケテ居ツタ、サウシテ地租營業稅、所得稅ト斯ウ掛ケテ往クト云フト、其率ノ金高ガ以前ノ制限ノ

金高ヨリハ二割カ三割ノ餘地が出テ來ルカラ、ソレダケノ金額がアレバ郡デモ或ハ市町村デモ、ヤハリ此金額ヲ均ラシテ、今日ニ必要ナルトコロノ地方事業ヲ支ヘルニ足ルト云フ地方財政上ノ根底カラ此標準ヲ立テ、課率ヲ御定メニナタモノデアラウト思フ、前ノ稅率ニ非常特別稅ヲ一絡ニスルト、凡ソ倍額ニナルカラ、ソレノ半分位ニセツタト云フ漠然シタモノデナイト、斯ウ信ジテ之ヲ讀シテ居タルデスカ、唯今ノ御説明ニ依ルト却テ疑ガ生ズル、サウ云フヤウナ地方財政上ノ根底ニ依ツテ、稅率ヲ御割出ニナタノデナイ、唯漠然トシテヤラレタノデアリマスカ

○政府委員(吉原三郎君) 御答致シマスガ、地租ナラバ地租ニ付テ申上ゲルト、今アナタノ御話ニナッタヤウデアリマス、元五十錢デアッタガ——ツマリ申シマスルト殆ド全國皆其必要ト云フコトハ、豫メ認メ得ルニ拘ラズ、認可ヲ受ケル手數ヲシナケレバナラヌ、故ニモウ十錢高メテ五十錢ヲ六十錢トシテ置ケバ、大抵ナ縣デハ通常ナモノハ是デ賄フコトが出来ル、特別ニ必要ナル場合ハ別デアリマシテ、ソレハ認可ヲ受ケニ來ル、唯私ノ申シマシタルハ、片方ガ二十五、所得稅ガ五、營業稅ガ十五、此間ノ權衡ハドウシテ取ツタカト云フ御尋ト考ヘマシタカラ、ソレデ從前ノ例ニ依ツテ凡ソ率ヲ立テタ、斯ウ云フコトヲ申シタルデアリマス、地租バカリ申上ゲルト、御尋ノヤウナ次第デアリマス

○關直彦君 本案ノ如キモヤハリ稅法ノ整理ノ總テノ案ト相伴ウテ居ルデアリマスカ、唯今ノヤウニ地方ノ事業ニ付テ、多少制限ヲ超エテ金ヲ使ハナケレバナラヌ必要ガアルノハ、現在ノ法律ノ本稅率ヲ幾分カ高メテ、當分間ニ合セテ置イテ、サウシテ本案ノ如キハ之ヲ一般ノ稅制整理ト共ニ、根本的ノ改正ヲスルマデ御待ニナルト云フコトハ出來マスマイカ、ソレモ長イコトデアリマセヌ、來年迄ニハ出來ルダラウト思ヒマスガ、ソレ位ナコトデ今ノトコロハ措イテ置クト云フコトニハナリマスマイカ

○政府委員(吉原三郎君) 此率ヲ極メマスルノハ、必シモ此增稅ヲ取除イタモノデ、率ヲ定メマシテモ事實ニ於テソレハ變リハゴザイマセヌ、變リハゴザイマセヌガ、是非非常ニ面倒ナコトニナリマスノデ増稅ヲ取除イテ極メマシテモ、又增稅ヲ括メテ課率ヲ低メテヤリマシテモ、實際ノ利害ト云フモノハ同ジコトデアルニモ拘ラズ、其實ハ課稅ノタメニ非常ナ手數ヲ要シマスルノデ、モウ内務省デハズット以前カラシテ斯ノ如クナルコトヲ希望致シテ居リマシタルデアリマス、併シ非常特別稅ノ間ハ、其文字ノ示ス如ク、非常特別稅ノ永久ノモノデナイト云フデアリマスカ、ソレデヤシテ居リマシタケレドモ、是ハ大變手數ガ掛リマス、成ルベク事實ニ於テハ利害ニ關係ハナイデアリマスガ、課稅ノ手數ヲ省ク上ニハ、斯ウ致シタ方ガ餘程宜シイデアリマス、ソレカラ其儘ニ非常特別稅ヲ其儘存スルコトニナリマスルト云フト、如何ナル必要ガアツテモ起債スルコトが出来ナイ、斯ウ云フ不便ガアリマスノデ、ソレモ甚ダ地方デハ困難ヲ致シテ居ルデアリマス

○奥野市次郎君 今關君カラ御質問ニナリマシタルデ略々分リマシタケレドモ、モウ少シ伺ツテ置キタイデアリマスガ、此租稅制限ニ關スル法律案ハ、非常特別ト云フノニ拘ラズ制限ヲスル必要ガアルカラ、現ニ昨年ノ如キモ提案ヲシタト云フ譯デアッデ、是非是ダケハ今日ノ狀況必要デアルカラ制限スルト云フガ如キ御説明デアリマシタガ、併シサウスルト實ハ、制限シマシテモ課稅ノ定率トナルベキモノガ定マリマセヌバ、唯名前ダケ改メテ見タトコロガ、率ニ於テ收入ノ實ガ變ラナケレバ、何ニモナラヌト思フ、此法律案ヲ見マ

スルト、此處ニ出テ居ル整理案ガ通過シタモノトシテ、サウシテソレヲ基礎トシテ、爰ニ課稅ノ制限ヲ改メラレタ如ク思ハレルデアル、若シモ整理案ガ通過シマセズ、若クハ整理案ガ大修正ヲ加ヘテ之ヲ地租ノ百分ノ五半ト云フノヲ三減ズル、營業稅ノ百分ノ六十即チ千分ノ百五十ト云フノヲ、元ノ通り千分ノ六十ニ減ズルト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、幾ラ制限ヲ直シテ見タトコロガ何ニモナラヌ、又却ツテソレヨリハ元ヨリハ減ズルト云フヤウナ結果ヲ見ルト思ヒマス、故ニ此ノ如キ問題ハ稅法整理案ノ運命ヲ見テ、然後ニ討議ヲスルノガ必要デアルト考ヘマス、今ハ質問ノ時デアリマスカ其處マデハ述ベマセヌガ、ツマリ政府ガ特ニ稅法整理案ハドウナツテモ、後ニ廻ハシテモ是ダケハ是非トモシナケレバナラヌモノデアルト云フ主張ハ、何ノ必要ガアルカモウ一ツ……

○政府委員(吉原三郎君) 此案ハ元ヨリ稅法整理案ト共ニ出テ居リマスルノデ、内務省ト致シマシタルハ外ノガドウナツテモ宜イトカ、外ノハドウデアルトカ云フコトハ私ヨリ申上ゲベキコトデナイト考ヘマスガ、兎ニ角此案ト云フモノハ、稅法整理案ノ如クニナリマシテモ、又現在ノ通りニ非常特別稅法ノ通りデアリマシテモ關係ハゴザリマセヌ、更ニ今日ノ非常特別稅法ニ別段ノ修正ガアルト云フ場合ニ於テ、初メテ關聯致シマスルガ、非常特別稅法ニ依リマシテモ亦稅法整理案ニ依リマシテモ、ドチラカラシテモ此案ハ獨立致シテ一向差支ナイト考ヘマス、若シ唯今御話ノ如ク、イロ／＼ノ修正ガアツタラト云フコトデゴザイマスガ、是ハ豫期致シテ居リマセヌ

○文部大臣(男爵牧野伸顯君) 先刻來政府委員ヨリ、地方ノ事業ノ膨脹ノ爲ニ、稅法整理ト教育ノ關係ヲチヨツト述ベテ置カレマシタ、私ハ此案ノ教育ニ關係スルコトニ付テ御參考ノタメニ簡單ニ申上ゲテ置キタイ、此戰爭前ニ於キマシテ、府縣都市町村ニ於テ負擔シテ居リマシタルコロノ教育費ハ、全體ヲ綜合シテ申上ゲルト、二十六年即チ戰爭ノ前年デアリマス、四千四百——約四千四百五十萬圓ト云フ金額ニ上ツテ居タルデアリマス、然ルニ非常特別稅ノ制限ノ付キマシタ爲ニ、二十八年度ニハ非常減額ニシテ二千七百萬圓ニシタノデアリマス、約七百萬圓バカリ減額致シタルデアリマス、サウシテ非常特別稅法ノ爲メニ無論減額シタト云フコトモ言ヘマスガ、幾分ハ行政ノ手心ニ於テ負擔ヲ輕クスルト云フコトカラモ、此結果ヲ來シテ居ルデアリマス、ソレデ此七百萬圓ノ減額ニ伴フダケ、多少府縣ノ教育ト云フモノガ縮小ヲシタト云フ意味ハ免カレヌデアリマス、ソコデ今申上ゲマシタルハ二十八年度ノ數字デアリマスガ、九年、四十年トナツテ幾ラカ戰時ノ狀態ヲ脱シテ、府縣以下ノ公共團體ノ支出金モ殖エテ來テ居リマスケレドモ、戰爭前ノ金額ニ對シテハ未ダ及バヌコト、考ヘテ居リマス、又戰爭後ハ地方ノ人心モ教育ニ向ツテ熱心ノ度ヲ高メタコトハ、私ヨリ申スマデモナク諸君ノ能ク御承知ノコトデアリマスガ、今日デハ地方ニ於テハ小學教育中學教育、其他實業教育等ニ於テ非常ニ勃興ノ氣運ヲ來シテ居ルノデ、從ツテ是等ノ公共團體ニ於テ之ニ伴フコロノ經費ヲ支出スル必要ヲ生ジテ居ルデアリマス、ソレデ大體ノ趨勢ニ於テモ此ノ如クデアリマスルガ、又昨年來文部ニ於テ段々施設致シテ居リマスル所ノ教育ノ事業ヲ、實際ニ於テ地方ニ勵行シテ行キマスニハ、從ツテ地方ノ負擔ヲ増サナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニナツテ居ルデアリマス、昨年來計畫ヲ致シテ居ル事業ノ概略ヲ申述ベマスレバ、其小學校教員ノ給料、是ハ物價ノ騰貴トニ較ベテ到底其生活費ニモナラヌ、從ツテ品

位ヲ保ツコトニモ不足ガアルト云フコトデ、是ハ殆ド天下ノ公論ト見マスルノデアリマス、依テ小學教員ノ給料額ト云フモノヲ上セマシテ、町村ノ負擔額ヲ從テ増シタ譯デアリマス、是ハ勅令ニ依テ其規定ヲ致シタノデアリマスガ、此増額ノ爲メニモ、即チ町村ハ少ナカラズ費用ヲ支出シナケレバナラヌデアリマス、又小學教育ノ義務年限ヲ延長シタコトハ諸君ノ御承知ノコト、思ヒマスガ、是モ教員ノ増加ヲ要シ、又場所ニ依リマシテハ校舍ノ増築ヲ要シ、又或場所ニ依テハ高等小學第三年級ヲ設置スルコトニナリマシタカラ、是等モ教室及ヒ教員ヲ増加スルコト云フコトニナルデアリマス、其結果トシテハ一方ニ於テハ市町村ノ費用モ、亦進シテハ府縣ノ費用モ増スト云フノハ教員ノ増加トナリマスレハ、師範教育ノ擴張ヲ計ラナケレバナラヌ、或ハ女子師範學校或ハ高等師範學校ヲ増設シ、又既設學校ヲ一層擴張シテ、教員養成ノ度合ヲ増サナケレバナラヌデアリマス、是モ地方費ニ於テハ少ナカラズ失費ヲ要スル次第デアリマス、又中學校ノ増設ト云フコトモ各地方ニ段々起テ居ルデアリマス、既設ノ中學校デモ教員給料ハヤハリ小學教員同様デアリマシテ、幾ド其位地ヲ完ウスルニ堪ヘヌヤウナ次第デアリマス、是モ地方官ヲ督勵致シテ平均額ヲ増加スルコトニ努メテ居ルデアリマス、勿論是等ノ費用モ限りナク増加シテ往クト云ウテハ、負擔ニ響キマス譯デアリマスカラ、其邊ニ於テ地方長官ハ地方ノソレノ機關ト審議致シマシテ、相當ノ程度ニ於テ増額ヲ計ルデアリマス、尙此先頃衆議院ノ本年ニ於キマシテ質問ニナツテ居リマス、國民教育ノ授業料ヲ成ルベク廢シテ貰ヒタイト云フヤウナ意味ノ質問モ出テ居リマスガ、是ハ當局者ニ於テモ希望スルコトデアリマスケレドモ、マダ或地方ノ經濟事情ハ之ヲ容サヌデアリマスカラ、此目的ヲ遂行スルニ於テモ、地方ノ制限ヲ解クト云フコトモ必要ガアルデアリマス、以上述ベマシタノハ今日ノ制限内ニ於テハ、是等ノ事業ヲ擴張進行スルコトガ出來ヌタメニ、切ニ制限ヲ解カレンコトヲ、教育ノ事業上カラ希望スルデアリマスカラ、御審議ニ當ッテ御參考ニナリタイモノデアリマス

○池田惟貞君 本員等ハ此改正案ノ必要ト云フコトハ認メテ居リマスカラ、大体ニ付テ質問モアリマセヌガ、唯此第五條ニ付テ疑ガアリマス、此十分ノ四以內ニ於テ課税スルコトヲ得トアルトコロデ、後ニ此三項カニゴザイマス、此三項ノモノガ、或ハ復舊工事ノタメ必要ガ起ツタ、或ハ水利ノタメ急ヲ要スル場合ト一緒ニ併發シタ時分、ヤハリ十分ノ四以內ト云フコトニナリマス、一ツノ方々ニ出來ルト云フ趣旨ニ成テ居リマスカ、ソレカラ水利ノタメト云フコトガ、ドウモ漠然トシテ居リマスガ、水利ト云ヒマスト普通ノ場合——茲ニ掲ゲタルノハ普通ノ河身改修ナドノ場合ヲ指シマスカ

○政府委員(吉原三郎君) 是ハ第五條ノ一項カラ申上ゲマス、此通常ノ場合ニ於キマシテハ、即チ第一條ニアリマストコロノ制限以內——是ガ先ヅ今日ノトコロデ見マス、先刻合田君カラ御尋ニナリマシタ如ク、今日ノ實況カラ觀テ餘リタント餘地ハナイノデゴザイマス、ソレカラ第一條ニアル制限内ノ金額ハ、府縣以外ノ公共團體ガ隨意ニヤルコトガ出來ルデアリマス、此制限ニ達スルマデ隨分賦課致シテ居リマシタ、所ガ或ハ傳染病ノコトガ起ツタ、或ハ學校ノ新築ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナドウシテモ避クベカラザルモノニ必要ノ起リマシタトキニ、内務大藏兩大臣ノ認可ヲ得マシテ、十分ノ四以內ヲ賦課スルコトガ出來ル、此十分ノ四以內ヲ賦課スルノハ兩大臣ノ認可ヲ受ケ

テヤル、隨意デナイ、ソレデソシナラバ澤山アルカト申シマス、此非常災害ノアツタヤウナ場合ハナカノ、此百分ノ二十五ニマダ十分ノ四ヲ加ヘタノデハ足ラヌ、ソレ故ニ此水利ノタメ、或ハ非常ノ災害ノタメ、或ハ舊債償還ノタメト云フヤウナモノデアレバ、十分ノ四以上デモ尙課スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、ソレデ一方カラハ此公債ヲ起シテ、ソレヲ無制限ニ課税スルコトガ出來タナラバ、甚ダ危險デアルト云フ御疑ガ一方ニ起リマセウガ、ソレハ公債ヲ起シマストキニ、其事業ノ必要ニ必要、及此償還ハ如何ニ致シテヤルト云フコトヲ審查ハシテヤリマスカラ、先ヅサウ云フ危險ハナイコト、御承知ナスツテ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ水利ノタメト云フノハ、主モニ水利組合ニ依テヤル事業、灌漑排水等ノ事業デアリマス、河身改修ノ如キモノハ臨時ノモノデアリマスガ、ヤハリ水利ノ中ニ這入ル、斯ウ云フデアリマス、臨時ト臨時ニアラザルト問ハズ、ソマリ排水灌漑等ニ關スル、即チ水利ニ關スルコトデアリマスレバ、總テ之ニ入ルデアリマス

午後三時八分散會

○委員長(栗原亮一君) 今日ハ是デ散會シマス、次ノ會ハ追ッテ公報デ御通知致シマス

明治四十一年二月十九日印刷

明治四十一年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局